

# 2001年10月期事業報告書

---

(2000年11月から2001年10月まで)



**TOP CULTURE Co., Ltd.**

## 株主のみなさまへ



株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。2001年10月期事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

地域文化のために力を尽くしたい、との思いから創業し、2001年12月で15年を迎えました。この節目に、東京証券取引所市場第二部に上場できたことは、一重にみなさまのご支援があつてこそと、厚く御礼申し上げます。

小売業を取り巻く経営環境は、個人消費の低迷などにより、厳しい状況が続いております。この中で、当社は「日常的エンターテインメント」の提供を事業コンセプトにお客様に楽しい空間と時間の提供を目指し、出店面では「蔦屋書店」を4店舗出店し、当期末の累計店舗数33店舗と店舗網の拡大を推し進めました。また、お客様への情報提供力の強化に努め、従来からのインターネットに加え、「iモード」を通じたサービスを開始しました。店舗運営面におきましても、イントラネットの活用により社内情報の共有化を進め店舗運営全般の向上に取り組みしました。

この結果、既存店売上高は対前年比0.7%増、当期の売上高は15,288百万円、対前年比16.2%増、当期純利益303百万円、対前年比17.8%増と増収増益を達成することができました。

次期におきましては、これからが本格的な成長段階へのステップと位置付け、基盤となります業務の効率化、店舗の魅力向上・差別化の推進、そして人材育成に努め、「蔦屋書店」の店舗網を拡大したいと考えております。

株主のみなさまには、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2002年1月

代表取締役社長 清水秀雄



2001年10月期は、3月に3店（大町店、須坂店、長野安茂里店（以上全て長野県））と9月に1店（南川中島店（長野県））を新規出店。お子様からご年配の方まで、たくさんのお客様にご来店いただいております。

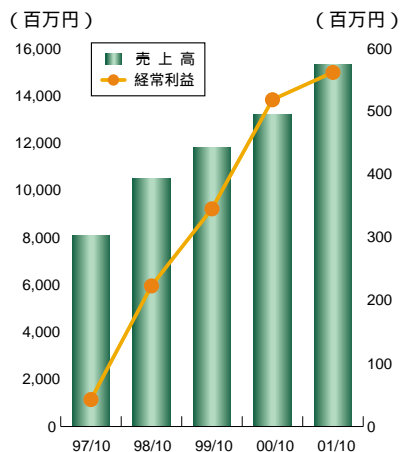
## 財務ハイライト

2001年10月期より連結決算を開始いたしました。(2000年10月期以前は単体数値にて記載いたしております。)(単位：百万円)

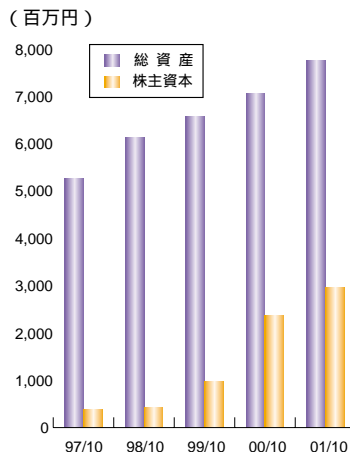
|             | 1997年10月期 | 1998年10月期 | 1999年10月期 | 2000年10月期 | 2001年10月期 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高         | 8,065     | 10,470    | 11,767    | 13,162    | 15,288    |
| 営業利益        | 40        | 242       | 346       | 554       | 573       |
| 経常利益        | 43        | 223       | 345       | 518       | 561       |
| 当期純利益       | 23        | 49        | 154       | 262       | 303       |
| 総資産         | 5,267     | 6,134     | 6,563     | 7,063     | 7,753     |
| 株主資本        | 391       | 434       | 963       | 2,358     | 2,970     |
| 1株当り当期利益(円) | 25.9      | 37.4      | 110.0     | 67.5      | 73.1      |
| 1株当り株主資本(円) | 293.2     | 325.4     | 272.6     | 563.7     | 643.6     |
| 1株当り配当金(円)  | 7.5       | 7.5       | 7.5       | 10.0      | 12.5      |
| 単体期末店舗数(店)  | 20        | 23        | 25        | 29        | 33        |

(注) 99年11月1日に額面変更のため額面500円の会社と合併/2000年2月22日に株式分割(1:10)を実施/97年10月期から99年10月期の1株当り当期利益・1株当り株主資本・1株当り配当金は合併・分割を勘案したものであります。

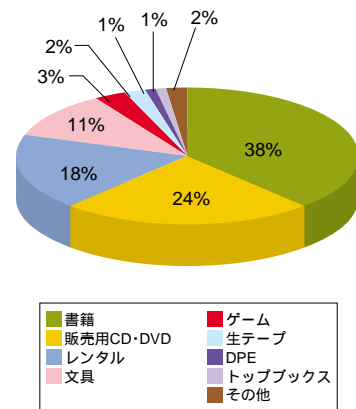
### 売上高 / 経常利益



### 総資産 / 株主資本



### 2001年10月期売上高構成比



# トップカルチャーの事業コンセプト

## 事業コンセプト

### 「日常的エンターテイメント」

- エンターテイメント空間と時間の提供 -

書籍・映画・音楽・文具・ゲーム...etc。暮らしのいちばん近くにあるエンターテイメントたち。ディズニーランドのようなエンターテイメントは毎日体験できない「非日常的エンターテイメント」であると思います。「日常的エンターテイメント」とは、毎日でも味わうことのできる身の回りのエンターテイメントを、モノだけでなく、心地良い空間や時間として提供することです。

標準店舗は400坪の大型複合店

書籍、映画、音楽、文具などを  
組み合わせた新業態

創業の翌年1987年、日本で初めて、それぞれ単独の専門店等で提供されていた書籍、映画、音楽、文具などの身の回りのエンターテイメントの数々を、1店舗に集約した大型複合店「蔦屋書店」を開店いたしました。



### 「日常的エンターテイメント」

- エンターテイメント空間と時間の提供 -



明るくゆったりとしたフロアに、専門店レベルの品々を幅広く揃えています。



**選ぶ・集う楽しみがあります  
お子様からご年配の方まで  
家族みんなで楽しめるお店です。**

例えば、ご家族づれでショッピングを楽しむシーンを思い浮かべてください。お父さんが歴史小説を手にいれたいと思うとき、お母さんはクラシックのCDを探しているかもしれません。子ども達は新しいゲームソフトが欲しい、あるいはおじいさんは椅子に腰かけてゆっくり本を選びたいかもしれません。お子様からご年配の方までみんなで楽しめるお店です。



# 経営方針

## 基本方針

### 地域社会に根ざした店舗づくりと ローコストオペレーション

「地域社会の文化向上に力を尽くしたい」という創業精神にたち、グローバルに考え、ローカルに行動します。地域の皆様の生活に密着したお店づくりを行うとともに、お客様にとってより「価値あるもの」をご提供し続けるために、ローコストオペレーションを追求しています。

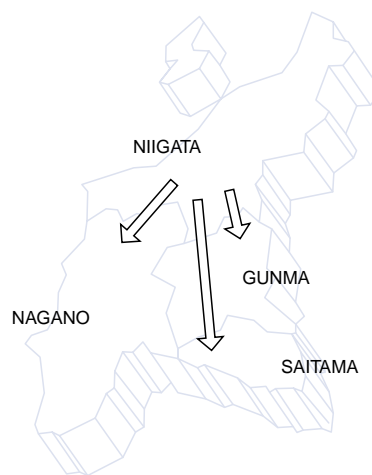
## 中期的経営目標

### 2005年70店舗体制

### ドミナントエリア拡大

2001年10月現在、「蔦屋書店」「HIE'S」を新潟県22店舗、長野県11店舗出店しています。同地域においては、「日常的エンターテイメント」の提供という事業コンセプトが有効に機能し、地域のみなさまにご愛顧いただいていると考えています。そのため、中期戦略として、まず、店舗数と出店エリアの拡大を図ります。そして、インターネットや「iモード」を活用した情報・商品の提供拡大、リサイクル事業の立上げなど、新規事業への取り組みも行っていきます。

今後の中期的な経営目標として、「2005年70店舗体制」に向け、長野県内の店舗数の増加とともに関東エリアでの多店舗展開を目指しています。



## 「日常的エンターテイメント」の向上とIT活用の進展

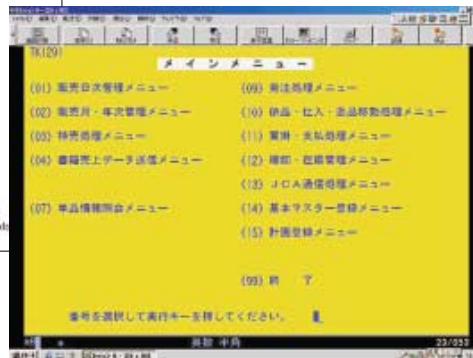
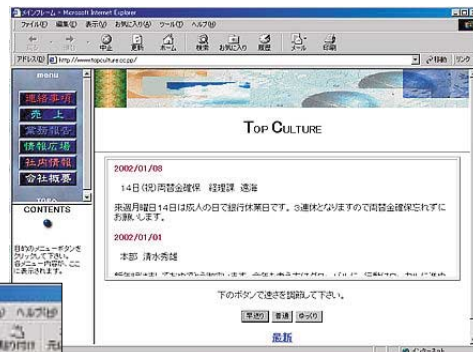
中期的な経営目標の達成に向け、店舗のエンターテイメント性向上に取り組めます。具体的には、接客やサービス、売場づくりなど運営力の向上に努め、よりご愛顧いただけるお店づくりを目指します。

### 情報共有化の推進

97年5月に導入したイントラネットは、会社方針や日々の実績データ、会議議事録の内容、各種マニュアル、また、成功事例、失敗事例の情報等が全社に共有されています。社内情報共有化は、「日常的エンターテイメント」やローコストオペレーションを支える不可欠な要素でありますので、引き続きIT活用を進めていきます。

### 利益配分に関する基本方針

株主のみならずへの継続的な利益還元を経営の重要な課題と位置付け、収益の拡大による配当水準の向上を図ることを基本としつつ、将来の事業展開に備えて財務体質の強化に努めてまいります。内部留保金につきましては、出店の設備投資等のための資金として活用し、業績拡大による株式の市場価値向上に努めてまいります。



# トピックス

## 新規出店 4 店舗

2001年10月期は、長野県内に、大町店・須坂店・長野安茂里店・南川中島店の計4店舗を出店しました。新しいスタッフたちは緊張しながらもはつらつとした笑顔で、たくさんのお客様をお迎えしました。

オープン直前、社長を囲んで。



## 2001年6月、アメリカへ流通業海外研修

2001年6月、アメリカ西海岸へ流通研修を実施しました。競争の激しいアメリカ流通業をじかに見ることで、グローバルな視点から物事を見つめ、地域社会でお客様のために何を実行すべきか、それを常に考えられる、そんな人材育成を目指しています。



## 楽しい企画ぞくぞく TOPCULTURE-netクラブ

<http://www.topculture.co.jp>

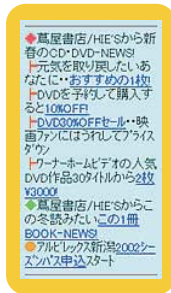


ホームページのトップページは、「TOPCULTURE net-クラブ」。商品や催物などの情報からIR情報まで盛りだくさんの内容となっています。品揃え充実のDVD販売がたいへん好評です。お好きなきに欲しいものをじっくり探せて、商品のお受取りは、ご自宅までのお届けはもちろん、お近くのトップカルチャーのお店でも可能。ぜひ、トップカルチャーのインターネット上のお店「TOPCULTURE net-クラブ」もご利用ください。

## iモードでもサービス開始、

<http://www.top-c.net>

2001年4月より「iモード」を通じたサービスも開始。新しいお店の情報や商品のご案内はもちろんのこと、地域の映画館・スポーツショップなどと提携したiモード限定のプレゼント企画など、お得な情報・サービスをご提供しています。





## よくいただくご質問 (FAQ)

### 薦屋書店杯少年サッカー大会

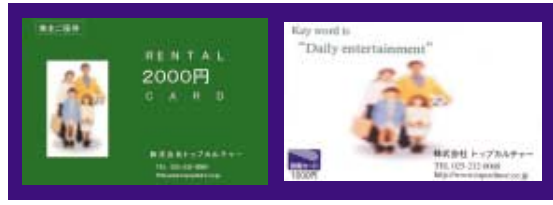
いよいよ「FIFAワールドカップ」が開催され、世界中のトッププレイヤーが日本に、そして新潟にやってきます。これまで、地域のサッカー文化を高めるために、毎年、少年サッカー大会を開催してきましたが、2001年は第6回目となる中学生サッカー県大会を10月22日と11月3日に開催しました。24の中学校・クラブが参加し、自らの夢のために思いっきりプレーしていました。



### 株主優待を始めました。

毎年10月31日現在で100株以上ご所有の株主様に対して、レンタル優待券(2,000円相当)または図書カード(1,000円相当)のいずれかをご選択いただき一律に贈呈させていただく株主優待制度を新設しました。2001年10月31日現在の株主様から実施させていただきます。レンタル優待券の使用可能店舗は、トップカルチャーが経営するレンタル取扱いの全店舗(2002年1月29日現在 33店舗)でご利用いただけます。

なお、株主様には別途ご案内をさせていただきますので、そちらをご覧くださいませう、お願い申し上げます。



トップカルチャーによくいただくご質問をまとめました。私たちをもっとご理解いただきたく、当社のホームページ(<http://www.topculture.co.jp>)でも積極的な情報公開を行っておりますので、ぜひご利用ください。

### トップカルチャーはフランチャイジー(FC)?

売上高の約1/3はFC加盟部分の売上ですが、残りの2/3は非FC加盟部分の売上が占めています。創業時より、書籍・映画・音楽・文具等を扱う複合店をスタートさせましたが、当時レンタル部門のみカルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社様のフランチャイズシステムに加盟しました。しかし、現在でも主力の書籍をはじめとして文具、生テープ、DPE等を自社で独自に行っています。

### トップカルチャーの「薦屋書店」は大都市の「TSUTAYA」とは違うの?

大都市の「TSUTAYA」と違い、郊外のロードサイドに、通常は100台以上の駐車場を持ち、主力の書籍を中心として、CD・DVD・文具・ゲーム等の販売、ビデオ・CD・DVDのレンタルを行う大型の複合店舗です。さらに、幅広い年代、特にご家族づれのみなさまにご利用され、若者中心の大都市の「TSUTAYA」とはずいぶん異なります。

### 関東エリアへ出店するって本当?

そのつもりです。2001年10月現在、新潟県・長野県の郊外エリアを中心に33店舗出店しています。これらの地域においては、「日常的エンターテイメント」の提供という事業コンセプトが、お子様からご年配の方々まで幅広い年代のみなさまに受け入れられていると考えています。しかし、関東エリアには、トップカルチャーのような店舗はほとんどありません。関東エリアの郊外地域にお住まいのみなさまがご家族みんなで、トップカルチャーの「薦屋書店」にご来店される日を楽しみにしています。

# 財務諸表

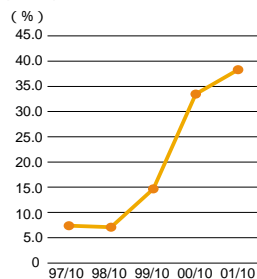
## 貸借対照表 (単位：百万円) 2001年10月期より連結決算を開始(2000年10月期は単体数値を記載)

|             | 2000年10月期 | 2001年10月期 |                 | 2000年10月期 | 2001年10月期 |
|-------------|-----------|-----------|-----------------|-----------|-----------|
| <b>資産の部</b> |           |           | <b>負債の部</b>     |           |           |
| 流動資産        | 3,000     | 3,500     | 流動負債            | 2,618     | 2,751     |
| 現金及び預金      | 821       | 753       | 買掛金             | 1,457     | 1,588     |
| 売掛金         | 19        | 27        | 1年以内返済予定        | 561       | 663       |
| 有価証券        | 0         |           | 長期借入金           |           |           |
| たな卸資産       | 1,975     | 2,472     | 未払法人税等          | 172       | 138       |
| 前払費用        | 76        | 88        | 賞与引当金           | 44        | 49        |
| 繰延税金資産      | 19        | 21        | 未払金             | 99        | 144       |
| 未収入金        | 86        | 137       | その他             | 283       | 167       |
| 貸倒引当金       | 0         | 0         | 固定負債            | 2,086     | 2,025     |
| 固定資産        | 4,063     | 4,252     | 長期借入金           | 1,752     | 1,692     |
| 有形固定資産      | 1,409     | 1,441     | 退職給与引当金         | 30        |           |
| 建物及び構築物     | 711       | 764       | 退職給付引当金         |           | 38        |
| 車両運搬具       | 4         | 3         | 役員退職慰労引当金       | 49        | 56        |
| 工具器具及び備品    | 136       | 116       | 長期未払金           | 27        | 33        |
| 土地          | 557       | 557       | 預り敷金・保証金        | 226       | 204       |
| 無形固定資産      | 48        | 47        | 負債合計            | 4,705     | 4,776     |
| 借地権         | 34        | 34        | 少数株主持分          |           |           |
| ソフトウェア      | 5         | 3         | 少数株主持分          |           | 6         |
| 電話加入権       | 7         | 9         | 資本の部            |           |           |
| 投資その他の資産    | 2,605     | 2,763     | 資本金             | 708       | 926       |
| 投資有価証券      | 66        | 105       | 資本準備金           | 1,006     | 1,224     |
| 長期前払費用      | 33        | 79        | 利益準備金           | 4         |           |
| 繰延税金資産      | 33        | 22        | 連結剰余金           |           | 903       |
| 敷金・保証金      | 2,339     | 2,509     | その他の剰余金         | 637       |           |
| 自己株式        | 51        |           | その他有価証券評価差額金    |           | 33        |
| その他         | 79        | 60        | 自己株式            |           | 118       |
| 貸倒引当金       |           | 14        | 資本合計            | 2,358     | 2,970     |
| 資産合計        | 7,063     | 7,753     | 負債、少数株主持分及び資本合計 | 7,063     | 7,753     |

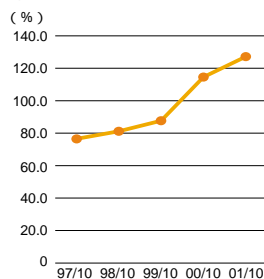
たな卸資産の増加  
販売用DVDの拡大や書籍強化のため、商品の追加投入を行いました。これらは、店舗売上高増加に寄与すると考えています。

自己資本  
2001年10月19日に時価発行公募増資(発行株式数500,000株)を行った結果、株主資本比率は38%となり、財務内容が向上しました。

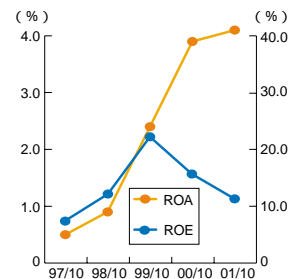
株主資本比率



流動比率



ROA/ROE



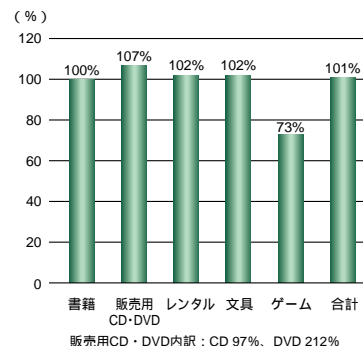
## 損益計算書 (単位：百万円) 2001年10月期より連結決算を開始(2000年10月期は単体数値を記載)

|               | 2000年10月期 | 2001年10月期 |
|---------------|-----------|-----------|
| 売上高           | 13,162    | 15,288    |
| 売上原価          | 9,269     | 10,690    |
| 売上総利益         | 3,893     | 4,597     |
| 販売費及び一般管理費    | 3,339     | 4,024     |
| 営業利益          | 554       | 573       |
| 営業外収益         | 48        | 56        |
| 受取利息          | 0         | 3         |
| 受取配当金         | 0         | 0         |
| 家賃収入          | 14        | 16        |
| 手数料収入         | 13        | 13        |
| 販売奨励金         | 8         | 13        |
| 雑収入           | 10        | 9         |
| 営業外費用         | 83        | 67        |
| 支払利息          | 53        | 43        |
| 投資有価証券評価損     | 0         |           |
| 公開関連費用        | 30        | 23        |
| 経常利益          | 518       | 561       |
| 特別利益          | 1         | 7         |
| 投資有価証券売却益     |           | 7         |
| 固定資産売却益       | 1         |           |
| 貸倒引当金戻入益      | 0         |           |
| 特別損失          | 36        | 25        |
| 固定資産除却損       |           | 2         |
| 有価証券評価損       | 1         |           |
| 投資有価証券評価損     | 20        | 8         |
| 会員権評価損        |           | 1         |
| 貸倒引当金繰入金      |           | 14        |
| 過年度退職給与引当金繰入額 | 13        |           |
| 税金等調整前当期純利益   | 484       | 544       |
| 法人税、住民税及び事業税  | 235       | 259       |
| 法人税等調整額       | 14        | 14        |
| 少数株主損失        |           | 3         |
| 当期純利益         | 262       | 303       |

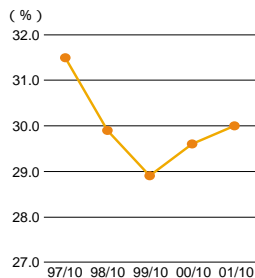
売上高  
( 蔦屋書店部門 )

既存店売上高101% (前年比) を達成。  
既存店の主要商品別売上高前年比は、業界が冷え込む中、販売用CD・DVD (CD97%・DVD212%、計107%)、レンタル(102%)、文具(102%)、書籍(100%) が好調で、ゲーム(73%) をカバーしました。

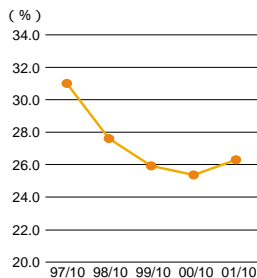
商品別既存店前年比



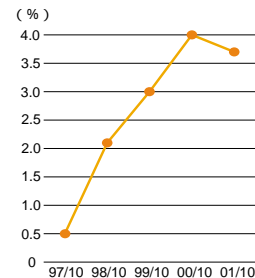
売上高総利益率



販売管理費比率



売上高経常利益率



## 株式の状況

2001年10月末現在

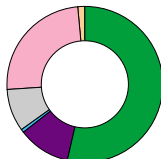
会社が発行する株式の総数 16,736,000株  
発行済株式の総数 4,684,000株  
(注) 2001年10月19日に時価発行公募増資(発行株式数500,000株)を行った結果、発行済株式総数は4,684,000株となりました。  
株主数 2,172名

## 大株主

| 株主名                                    | 持株数(株)    | 持株比率(%) |
|--|-----------|---------|
| 清水秀雄                                   | 1,102,000 | 23.5    |
| 有限会社ヒーズ                                | 880,000   | 18.7    |
| 三菱信託銀行株式会社(信託口)                        | 253,400   | 5.4     |
| 清水大輔                                   | 147,000   | 3.1     |
| ピーピーエイチフォーフィデリティ<br>ジャパン・スモールカンパニーファンド | 120,000   | 2.5     |
| 株式会社北越銀行                               | 112,000   | 2.3     |
| ゴールドマン・サックス・インテリナショナル                  | 112,000   | 2.3     |
| トップカルチャー従業員持株会                         | 101,600   | 2.1     |
| 東京中小企業投資育成株式会社                         | 80,000    | 1.7     |
| カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社                  | 80,000    | 1.7     |

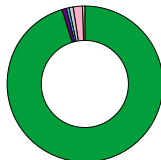
## 所有者別の株式数

|        |                    |
|--------|--------------------|
| 個人・その他 | 2,523,200株(53.87%) |
| 金融機関   | 510,000株(10.89%)   |
| 証券会社   | 7,700株(0.17%)      |
| 外国法人等  | 415,100株(8.86%)    |
| その他の法人 | 1,159,000株(24.74%) |
| 自己名義株式 | 69,000株(1.47%)     |



## 所有者別の株主数

|        |                |
|--------|----------------|
| 個人・その他 | 2,119名(97.56%) |
| 金融機関   | 9名(0.41%)      |
| 証券会社   | 2名(0.09%)      |
| 外国法人等  | 8名(0.37%)      |
| その他の法人 | 33名(1.52%)     |
| 自己名義株式 | (0.05%)        |



株式会社トップカルチャー  
〒950-2022 新潟市小針四丁目9番1号  
電話 025-232-0008  
<http://www.topculture.co.jp>  
[top-cul@po.next.ne.jp](mailto:top-cul@po.next.ne.jp)

## 会社概要

2001年10月末現在

設立 1986年12月  
資本金 9億2,665万円  
従業員数 182名(男子130名、女子52名)  
(他パート・アルバイト319名)

## 事業内容

書籍・文具・CD・DVD・生テープ・携帯電話・生活雑貨等の販売、DPEサービス、ビデオソフト・CD・DVDのレンタル業務(カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社のFC)を通じた地域密着型エンターテイメントの提供事業  
店舗名『蔦屋書店』『HIE'S』

## 主要取引銀行

株式会社北越銀行 株式会社三井住友銀行  
株式会社富士銀行 株式会社東京三菱銀行  
株式会社第四銀行

## 役員

(2002年1月29日現在)

代表取締役社長 清水 秀雄  
専務取締役 渡辺 俊一  
常務取締役 宮原 務  
取締役 高野 義治  
取締役 伊藤 正義  
取締役 板垣 晋  
監査役 相馬 潔  
監査役 鷺尾 博  
監査役 富岡 清嗣

## 連結子会社

株式会社トップブックス

## 株主メモ

決算期日 毎年10月31日  
定時株主総会 毎年1月  
配当金支払株主確定日 毎年10月31日  
(中間配当金の支払を行うときは4月30日)  
名義書換代理人 中央三井信託銀行株式会社  
〒105-8574  
東京都港区芝三丁目33番1号  
同証券代行部  
〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
Tel (03) 3323-7111(代表)  
同事務取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本支店、出張所  
1単元の株式数 100株  
(2001年8月1日をもって、1,000株から100株に変更になっております)  
公告掲載新聞 日本経済新聞